

**第88回千葉県メーデー  
(5月1日)**

千葉10:30～ 千葉市中央公園  
 船橋10:00～ 天沼公園  
 松戸15:00～ 松戸西口公園  
 柏 10:00～ 柏公園  
 市原10:00～ 市原市総合公園  
 八千代10:00～ 八千代台東第4公園

**ちば労連**

ホームページ <http://chibarouren.jp/> メール [chibarouren@axel.ocn.ne.jp](mailto:chibarouren@axel.ocn.ne.jp)

第 305 号 URL 版 2017 年 4 月 30 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043 (221) 0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1面】

# 春の組織拡大・共同が 大きく前進

千葉土建が3332人の年間拡大目標を達成しました。そのなかで、1月20日から4月19日の第4区間『春の拡大月間』では、全17支部が目標を達成し、組合創立以来初となる偉業を果たしました。

## 千葉土建 史上初の全支部目標達成！

『通年拡大』と称して千葉土建では、一年間を5つの区間に分け、それぞれの期間ごとに目標や行動方針を定めて組織拡大行動をとりこんでいます。

今期の通年拡大は2016年6月20日から17年6月19日までに3332名の組合員拡大と組織実増1000名を目標に奮闘しました。4月19日現在で3625人の新たな仲間を迎え入

れ、終了まで2ヶ月を残して年間目標をやりきり、さらに上乘せで成果を積み上げています。

とくに、第4区間である『春の拡大月間』では、組合歴史上で初めて全17支部が目標達成を成し遂げました。1月20日から4月19日までの3ヶ月間で全体の区間目標1107名に対し1888名の成果(達成率170%)をあげたことは、県内全支部がスクラムを組み、結束を固めて行動してきた大きな成果です。

これまで建設業界では業界構造上、社会保険の加入率が低く中小零細企業においては、未加入業者が大半でした。「社会保険をかけたくても、かける余裕がない」と多くの声が寄せられていま



歴史的快挙をたたえ合い更なる躍進を目指す

千葉土建中央執行委員＝4月19日・千葉土建会館7階

た。その状況下で、国や大手企業は『社会保険未加入対策』を強化し、未加入業者への取り締まりや現場からの排除を打ち出しました。

千葉土建では、2011年から「社会保険は千葉土建に相談だ！」を組合内外の建設業者、職人に打ち出し、およそ5年間かけて、学習会や相談会など県内全域で積極的にとりくみ、信頼を高めてきました。

次の目標は実増年間100人、3年間で3000人の組織実増を果たすことです。仲間を増やすだけでなく、組合に定着させることにも力を注ぎ、県内の労働組合運動を支える存在としてまい進していきます。

## 各組織で新規採用者に加入呼びかけ

自治労連千葉県本部は、例年通り組合紹介フォトムービーを活用するなどして、県全体で300人以上を拡大しています。大網白里市職・南房総市職・勝浦市職・鋸南町職の4つの単組では、新規採用者が全員加入しました。県職労では千葉県の残業問題を解決するために自ら加入申込書を事務所に持ってきた男性がいました。そのほかの単組でも一人でも多くの仲間を迎えるために引き続き奮闘しています。



八千代市職労の新採歓迎会

千葉県医労連は各単組ごとに新歓パーティーを開催し、全体で103人(4月18日現在)拡大しました。新入組合員は、今後青年部が中心の新歓パーティーを開催し、交流を深めていく予定です。

全教千葉はこの春に正規採用になった人と、非常勤講師を中心に4人を拡大しています。

## 教頭を大きく広げた千葉県知事選挙

### すみや信一氏が13万票を獲得

26日投開票の千葉県知事選挙は4人が立候補し、森田候補が当選しました。

千葉県の大規模開発の浪費をなくし、全国4位の財政力を全国最下位水準の福祉・教育・医療に振り向けるという、すみや候補の政策に共感が広がり、立候補表明してわずか40日間のたたかいで13万票を獲得しました。

今回の知事選は、県政史上初の市民と5つの政党・政治団体(自由党、日本共産党、緑の党・ちば、新社会党、市民ネットワーク)が一体となって選挙戦をたたかいました。その後、無所属県議、自主投票の民進党国会議員から応援が寄せられました。

また、今回は、市民が主人公の選挙戦、県下の44の自治体と6つの職域に勝手連が結成され、草の根選挙が行われました。さらに、すみや候補の教え子が応援に駆けつけるなど、若者が選挙戦に参加し、奮闘したのも特徴です。

知事選の構図は、改憲・利権組の森田・松崎候補対市民と野党共同のすみや候補でしたが、知事選の構図を有権者に鮮明にすることが十分にできませんでした。

しかし、今回の知事選は、今後の県政刷新と国政選挙での市民と野党の共同の発展に希望を生み出しました。私たちは、ひきつづき公約実現のため、全力で取り組みます。

(2017年3月26日・新しい知事を選ぶ会ちば選対本部長・関根由紀世)

# 波 涛

春。満開の桜の中、ランドセルを背負って歩いている子どもの姿は、なんともほほえましい▼18 年度から小学校で道徳の教科化が始まる。小学生の時の道徳の授業は、教科ではなかったことに今ごろ気づいた▼内閣は教育勅語について、憲法や教育基本法に反しないような形で教材として用いることは否定されることではないとの答弁書を閣議決定した。大阪の幼稚園では、園児に教育勅語を暗唱させていた。幼児期から刷り込まれたら、何も疑問に思わず成長していくことだろう▼不戦の誓いを貫くと首相は宣言した。自分の発言に責任を持ち、平和と民主主義、基本的人権の尊重を基調とする教育の発展に取りくんでほしい。



【2面】

## 戦争する国づくりは許さない

### 共謀罪成立阻止に向け宣伝行動



戦争法廃止、共謀罪成立反対を訴える参加者

安倍政権は戦争する国づくりへ向け、どんどん暴走政治を進める中、千葉県憲法会議&共同センターがおこなった4月11日の昼宣伝は、安保法廃止！オール千葉が合流した宣伝行動となり、生憎の雨にも関わらず、約40人が参加しました。

宣伝では「共謀罪」阻止を重点に署名行動などをおこないました。オール千葉の事務局3団体からそれぞれ弁護士の先生がマイクを握るとともに、日本共産党、新社会党、社民党の代表が順次アピール。緑の党からのメッセージも紹介されました。自らチラシをもらいに来る人や、雨の中でも署

名に応じる人も多数いました。

次回の4月25日(火)の昼宣伝は、共謀罪阻止千葉県連絡会と共同して、前半は駅前宣伝・署名行動をおこない、後半は中央公園まで駅前大通りの歩道を歩き、アピールウォークをおこなうことを予定しています。

また、共謀罪阻止のたたかいは当面の緊急重要課題であることから、4月25日の行動を経て、5月1日のメーデーと5月3日の憲法記念日の集いを成功させたうえで、5月9日(火)以降は憲法会議&憲法共同センター合同の昼宣伝行動を、国会開会中は毎週実施することが決定しています。各種集会や宣伝行動に多くの参加者を組織していただけるようよろしくお願いします。

## 現場労働者に適正な賃金を

### 4. 15 最賃・ディーセントワークデー宣伝

4 月 15 日に最低賃金の大幅引き上げ、ディーセントワークの実現を求める大宣伝が全国一斉に取り組みました。千葉労連も千葉駅クリスタルドームで開催し、6 組織 10 名が参加しました。

5 名が交代で現場で起こっている実態を伝えたり、賃上げの重要性、現在国会で議論されていることなどを通行人に訴えました。

通行人からは「介護労働者として働いている。月収は 20 万円にもならない。安倍首相は介護労働者の賃金をよくすると言っているが、経営者だけがもうかっているだけで現場労働者には全然回ってこ

ない。この状況をなんとかしてほしい」「労働者の待遇改善などあらゆる面で安倍首相には任せておけない」「長時間労働をなくしてほしい。こういう宣伝をもっとやってもらいたい」という声が寄せられました。

温暖な天候もあり、1 時間で 200 枚のチラシを配布しました。



通行人に訴える山崎事務局長

## 千葉県市民連合が記者会見を開催

千葉県市民連合は 4 月 11 日、千葉県庁記者クラブにて『千葉県市民連合及び各区小選挙区市民連合との合同記者会見』を開催しました。記者会見にはマスコミ 12 社が集まりました。

会見では、千葉県市民連合の事務局が資料にもとづき、野党共闘が中央のみならず千葉県においても着実に進んでいることが説明され、次いで 5 区・6 区・8 区・13 区より、これまでの宣伝行動や学習会などの取り組みが紹介されました。

記者会見の様子は、同日 21 時半の千葉テレビで放送され、翌日の朝日新聞・千葉日報で報道されました。

現在、県内各地の選挙区で市民連合の結成集会がおこなわれています。野党を一本化させるために、市民連合は大きな調整機能を果たします。居住地域の市民連合の結成集会や宣伝行動などに、積極的に参加していただけるようよろしくお願いします。

## 労働相談一ヶ月～会社の責任は～

パワハラを受け、通勤が出来ず休んでいる A さんからの相談です。

A さんは B メーカーの社員で、C 店のフロアに商品を並べて販売しています。このフロアには、B メーカーの商品と同種のを、D メーカー、E メーカーも並べて販売しています。D・E メーカーの販売員は歩合制の契約社員で、お客は C 店に来て、B・D・E メーカーの商品を見比べて買う事になります。A さんはかなり有能な販売員で、いつもトップの成績を上げていたそうです。そのことをねたんでいたらしく、ある時、お客が B メーカーの品と D メーカーの品で迷い、B メーカーの品を選択したことをきっかけに、D メーカーの社員が俺の客にチョッカイ出すなど人前で激高し、恫喝してきて恐怖を感じたといいます。このことが原因で体調が悪くなったそうです。

職場の労使・人間関係が複雑ですが、職場はC店なので、事業場として管理する責任はC店にあると考えます。次に、雇用関係では、BメーカーとDメーカーの社員間のトラブルになります。したがって、それぞれの責任区分を明確にして、再発防止の検討をおこなうことが必要と判断されますが、Bメーカーの担当は、責任の所在を明確にしないまま、Dメーカーの契約社員も謝罪しているので、この辺で収めてはと曖昧な話にしようとしているので、「再発防止」対策をきちんと聞くことを進めました。また、背景には、販売員が、売らなければ賃金が増えない歩合制で働かされていることがあり、労働法の適用も事業場単位で適用されているため、店・メーカーにそれぞれ責任があることが不明確になっていることがあると思われまます。 【中林】